

授業者も参加者も創る!!高まる!!広げる!!

西部の英語科の未来へバトンをつなぐ



令和元年 10月発行
西部教育事務所

今回は、8月29日(木)に四万十市立東山小学校で行われた教材研究会の様子を紹介します。見方・考え方を働かせ、児童同士で高め合う授業を目指します。



西部管内の
講座関係のHP

【提案内容】 小学校 6年 「新しく来た ALT の先生に四万十市を紹介しよう!」(We Can!2 Unit4 I like my town.)
【授業者】 乾 城次 教諭(HRT)、池田 真代 教諭(JTE)、マデリン・アームストロング (ALT) [四万十市立東山小学校]

提案授業について

新学習指導要領 領域別目標 (4) 話すこと [発表] ウ

身近で簡単な事柄について、伝えようとする内容を整理した上で、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができるようにする。

本時 (7/8時間目) の目標

◆相手に配慮しながら、自分たちが住む地域について、自分の考えを話すことができる。

課題の所在

- ・自分の思いを上手く表現できなったり、他者とのコミュニケーションが上手く図れなかったりする児童がいる。
- ・子供たち同士で関わり合いながら高めていく力に弱さが見られる。

趣旨説明

- ・グループで発表内容を考えたり、全員が表現する場を設けたりすることで協力しながら自信を持って表現できるようにする。
- ・お互いのプレゼンを聞き合い、より良くしていく交流を繰り返すことで表現力を高める。

言語活動をより質の高いものにするために

模擬授業

参観の視点

- ・相手意識を高くもち、より良いグループ発表になるような中間評価やグループ協議になっていたか。

模擬授業



新しく来た ALT に四万十市で楽しく生活して欲しい!

児童同士の学び合いを設定し、「内容」「表現」「伝え方」といった外国語による見方・考え方を働かせ、プレゼンを再構築していききました。

表現の高まり

表 最後、"We want." だけじゃ何がほしいか分からないよ。

内 自己紹介があった方がいいよ。

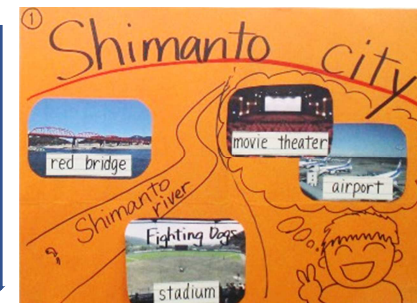
内 ファイティングドッグスが何か分かるように説明を加えたらいいと思うよ。

伝 動作があって分かりやすいね。

伝 もう少しゆっくり伝えた方がいいよ。

表 「赤鉄橋」という呼び方を覚えてもらいたいよね。

Hello.
 C①: We have a red bridge in Shimanto City .
 It's beautiful.
 C② : We have a stadium.
 C③ : We can play baseball. Fighting Dogs.
 C② : We don't have a movie theater and an airport.
 We want. Bye.



協議・共有

別のグループからアドバイスをもらい、再度プレゼンすることで、より良い表現になったという実感がもてた。



アドバイスをし合うのではなく、質問をさせることでどんな内容を伝えられるのはいいかを考えられるのではないかと。

グループ交流の際、見方・考え方の視点を教師がアドバイスすることで、質の高い言語活動になるのではないかと。

めあての設定の際、相手意識をもたせたことで、中間評価も相手にとってという観点でアドバイスし合うことができた。



他のグループがもらったアドバイスを全体で共有することで、子供たちに気付きが生まれる。伝わりやすさの視点が表現や伝え方、内容など広がっていった。

教師の中間評価として全体交流の場で、使わせたい表現を引き出すことが大切なのではないかと。

2回目のプレゼンは交流相手を変えることで、より質の高いプレゼンになるのではないかと。

他教科との関連も大切。国語科の力を生かし、まず始めに「私たちの住む四万十市のおすすめの場所を伝えたい」という自分の考えを言うことも考えさせたい。



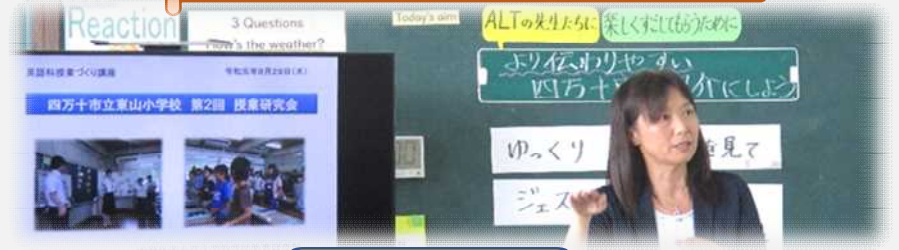
第2回 授業研究会

11月1日(金)

14:00~16:45

日々の外国語活動の授業づくりにおいて、悩んでいることはありませんか?「どのような言語活動を設定し、単元を構成するか」や「見方・考え方を引き出すためにどのような中間評価が効果的か」一緒に考えていきましょう。

中妻先生によるご指導・ご助言



中間評価について

目的意識・相手意識を明確にする

Shimanto city is nice!

「新しいALTに、四万十市のよいところを伝えたい。」

☆教師が「子供に何を伝えさせたいのか」を明確にもっておくことが大切である。ここでは、【場所やものの様子】や【それらに対する自分の思い】を引き出したい。
 ☆単元の導入で見た動画から得たALTの情報に教室に掲示しておく、「ALTの知りたいことは何だろう?」と相手を意識し、伝える内容を考えさせることができる。
 ☆めあてを「伝わりやすい」とすると、コミュニケーションポイントに意識が向きやすいので、プレゼンの内容を高めるためのめあてを提示するとよい。

既習を活用させる

☆伝えたい内容を既習表現を使って、「新しいものを生み出せた。」「伝わった。」と実感させる中間評価にする。
 ☆下学年の単元も含め、これまでの単元での既習表現をもっと使えるのではないかと。そのために、何が使えるかを事前に意識して単元構成を考える。

You can see ~.

You can enjoy ~.

It's beautiful.

It's fun.

Let's go!

ALT・JTE・HRTの役割を明確にする

☆ALT/JTE: 言いたかったけれど言えなかった表現を見取り、少しずつヒントを出しながら考えさせる。
 ☆HRT: 「見方・考え方」や「表現」を全体の場で共有することで、自分達のプレゼンに何が足りないのかを気付かせる。見取った良いグループを実際に前で発表させることも効果的である。

★最初よりも内容が良くなったことを実感させてあげることが
 高学年の学習における中間評価の価値である。

★中間評価を通して、全体共有したことをもとに活動を繰り返し、
 1時間の終わりには、今日できるようになったことを実感させたい。